

# Blueair Pro シリーズ 製品概要書



# 目次

- 01 5つの特長
- 02 製品仕様
- 03 Appendix

# 5つの特長

# 01

# 5つの特長

① 世界基準\*<sup>1</sup>  
No.1\*<sup>2</sup> の  
空気清浄能力

② 専業メーカー  
だからこそその  
独自技術  
HEPASilent®テクノロジー

③ 使用環境に  
合わせた  
多様なフィルターの  
組み合わせ

④ お手入れ簡単  
&  
シンプル操作

⑤ オフィス環境  
にも最適

\*1 米国家電製品協会（AHAM）によるクリーンエア供給性能に関する基準CADRが、アメリカ、カナダ、中国、韓国などで利用されていることから事実上の世界基準とする（2018年10月現在）

\*2 CADR（クリーンエア供給率）の公開値でブルーエア Pro XL / Lが最高値以上を取得。

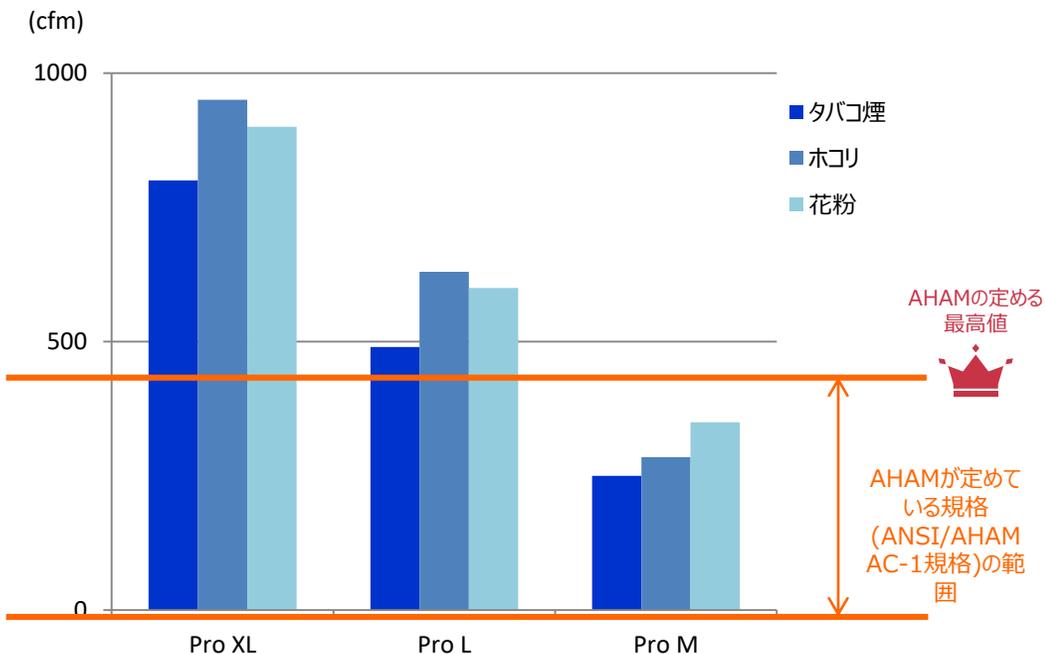
# 5つの特長 - ①世界基準\*1 No.1\*2 の空気清浄能力

## CADR= クリーンエア供給率 (Clean Air Delivery Rate)

空気清浄機のグローバルスタンダードは“清浄スピード”。

CADR (クリーンエア供給率) は、1分間あたりに供給する清浄な空気の量を表す指標のことで、この値が高いほど、空気清浄機の性能が高いことを示す。

ブルーエア空気清浄機シリーズ最高の空気清浄性能をProシリーズで実現。  
Proシリーズの性能は、AHAM (米国家電製品協会) が定めている規格の基準値をはるかに超えています。



### ブルーエア Pro XL と Pro L はCADR公開値で最高値以上を取得

<下記のCADR値はブルーエア Pro XL の実測値>



XL



タバコ煙除去

800



ホコリ除去

950



花粉除去

900

つまり、世界最高レベルの優れた空気清浄機だと証明されているのです。

\*1 米国家電製品協会 (AHAM) によるクリーンエア供給性能に関する基準CADRが、アメリカ、カナダ、中国、韓国などで利用されていることから事実上の世界基準とする (2018年10月現在)

\*2 CADR (クリーンエア供給率) の公開値でブルーエア Pro XL / L が最高値以上を取得。

# 5つの特長 - ②-1 独自技術 HEPASilent®テクノロジー

## HEPASilent®テクノロジーとは・・・

粒子イオン化技術と、高性能フィルター技術を融合したブルーエア独自の空気清浄技術。

高い除去性能と、ハイスピード清浄を両立する理想的なテクノロジー。

### ●Step1 パワフルなファンによる吸引

様々な粒子サイズの汚れを含んだ空気をパワフルに吸引



### ●Step2 イオナイザーによる帯電

ハウスダスト、ウイルスなどの粒子をイオナイザーでマイナスに帯電



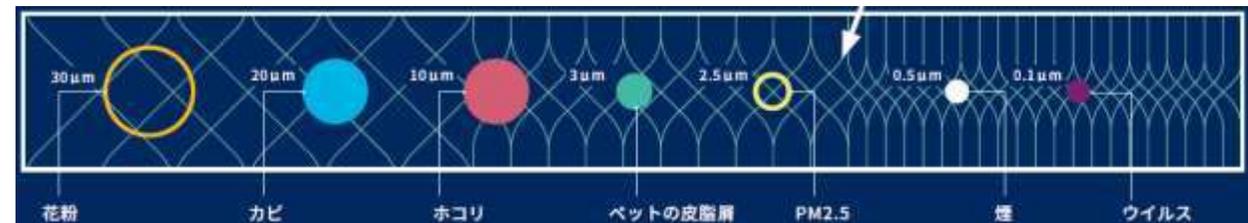
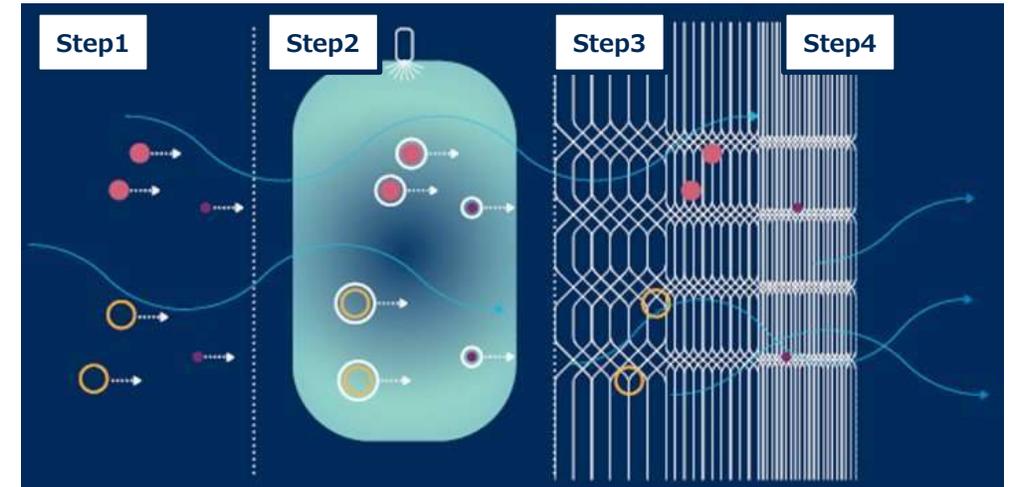
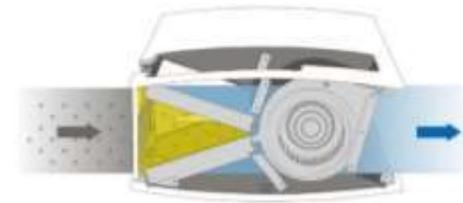
### ●Step3 高性能フィルターによる除去

あらかじめプラス帯電を施した多層構造のフィルターが、マイナス帯電した有害物質を静電気力で強力に吸着し除去



### ●Step4 キレイな空気を放出

粒子を大きさ別にキャッチするため、大風量のままきれいな空気だけを放出



このHEPASilent®テクノロジーにより、  
0.1µmまでの有害物質を99.97%\*1 除去します。

\*1 同テクノロジーを搭載するBlueair ClassicシリーズのCamfil社による実証データ。実際の効果は、部屋の状況や使用方法により異なる。

# 5つの特長 - ②-2 独自開発 3ステップHEPASilent®フィルター

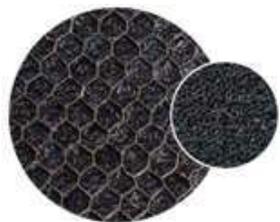
## HEPASilent®テクノロジーの中核を担う 3ステップHEPASilent®フィルター

目の大きさが異なる3枚のフィルターを重ねて圧着し、折りたたむことにより吸着面を最大化。また、あらかじめプラス帯電を施してあるため、マイナス帯電した微粒子を強力に除去。

目の大きい層から順に大きさの異なる粒子を除去していく構造になっているうえ、静電気吸着させる除去方法を採用していることで、一般的なフィルターよりも格段に目詰まりを起こしにくい。

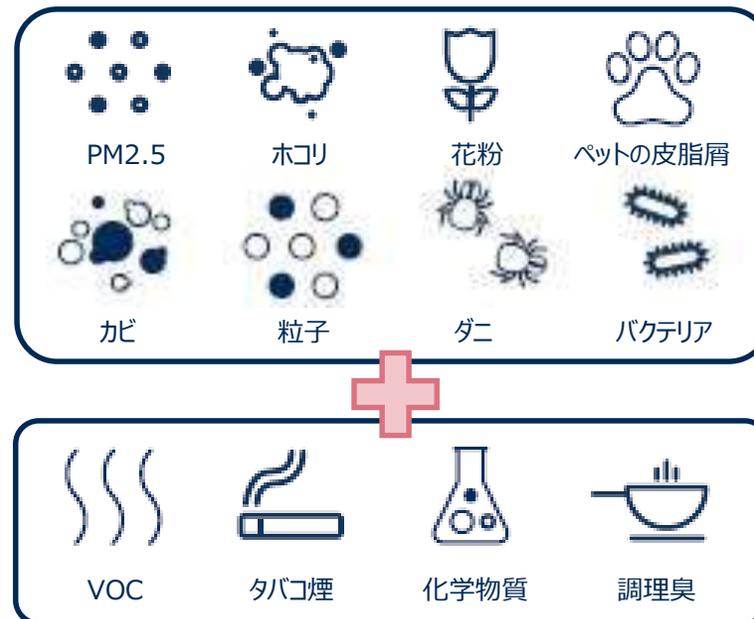


**ダストフィルター**  
ホコリや花粉など  
空気中の様々な  
粒子を除去。

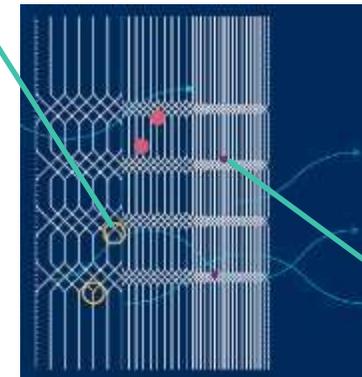


**ニオイフィルター**  
活性炭を加える  
ことで、タバコ煙や  
生活臭などの  
ニオイ物質も除去。

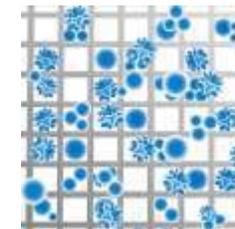
### 主な除去物質



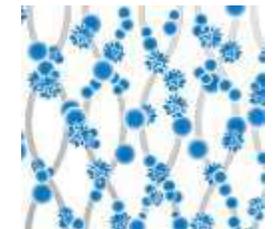
比較的大きな  
サイズの粒子を  
最初の層でまず除去



微小サイズの粒子は  
最終段階で除去



一般的なフィルター  
(イメージ)

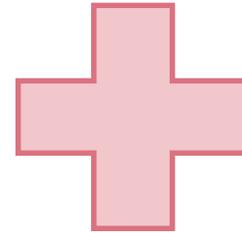


ブルーエアの3層フィルター  
(イメージ)

空気清浄機専門メーカーならではの  
高性能フィルターだから、除去性能が  
高いのに、目詰まりもおこしにくく  
安定してきれいな空気を供給できます。

# 5つの特長 - ③使用環境に合わせた多様なフィルターの組み合わせ

ホコリが特に気になる方に	
	<b>ダストフィルター</b> ホコリや花粉など空気中の様々な粒子を除去
ニオイが特に気になる方に	
	<b>ニオイフィルター</b> 活性炭を加えることで、タバコ煙や生活臭などのニオイ物質も除去



追加用カーボン	
<p>*単体では使用できない</p> 	ホコリ+αでニオイも除去したい時
	強かにニオイを除去したい時

V字にすることで、スリムでコンパクトな本体内部でもフィルターの吸着面積を最大限に生かすことができ、高い微粒子除去率を実現。使用環境に応じて2種類のフィルターと追加用カーボンを用意。

# 5つの特長 - ④-1 お手入れ簡単

## 他社の加湿空気清浄機と比較すると 非常にお手入れが簡単

例) S社 加湿空気清浄機の場合

集じんフィルター  
脱臭フィルター

交換は10年に一度!

↑  
ここが押しのポイント

実際にはこんなにお手入れをしないとカビ発生の原因に...

↓

タンク	給水のたびにお手入れが必要
加湿フィルター トレイ/トレイ蓋	1か月に一度お手入れが必要
後ろパネル センサー	2か月に一度お手入れが必要



## 約6か月に1回のフィルター交換\*1のみ

日常的なお手入れは不要。

フィルター交換時期になると、ランプが点灯してお知らせ。  
約6か月に1回のフィルター交換\*1のみで、高い清浄能力を維持。



使用前



6か月使用後  
(非喫煙)



6か月使用後  
(喫煙)

**フィルター交換のたびに初期性能へ。  
面倒なお手入れから解放されます。**

\*1 24時間使用の場合の目安

# 5つの特長 - ④-2 シンプル操作

## シンプルで使いやすい操作パネル

誰でも簡単に迷わず使うことができます。

操作は2つのボタンのみ。空気清浄に必要な機能やボタンは付いていません。



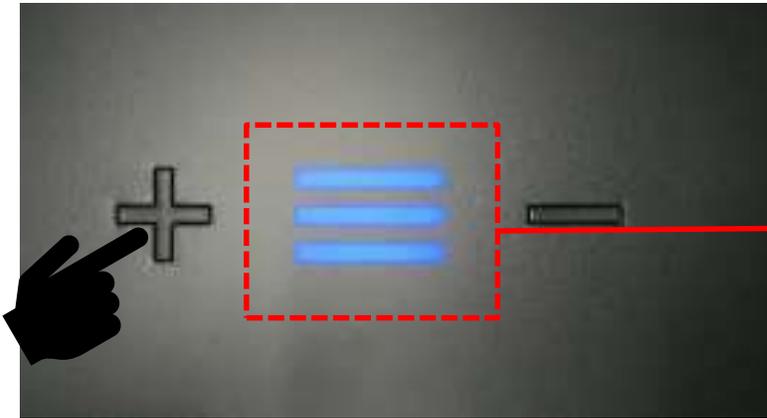
「+」ボタン：電源ON・運転スピード調整

「-」ボタン：電源OFF・運転スピード調整

エアインテリジェンスモジュールが装着されていれば、オートモードも対応  
(Pro L/Mは別売のエアインテリジェンスモジュールが必要)

# 5つの特長 - ④-3 シンプル操作

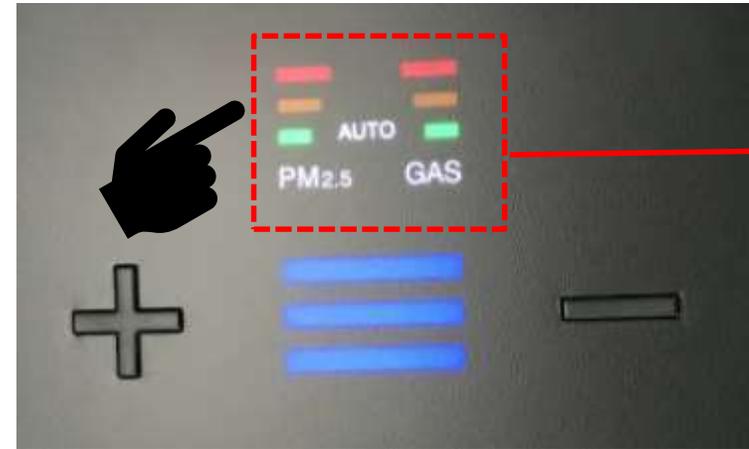
エアインテリジェンスモジュール なし



運転スピードにより、バーの数が増減する

「+」と「-」ボタンでスピード調節

エアインテリジェンスモジュール あり



PM2.5 : ダストセンサー

GAS : ニオイセンサー

「緑」のみ点灯 : ダストまたはニオイが少ない

「緑」「黄色」「赤」すべて点灯 : ダストまたはニオイが多い

\* 運転スピードを上げるか、オートモードに切り替えてください。

それぞれ  
3段階で表示

- 約30秒経過すると省エネモードが働き、操作パネルのランプが消灯します。表示を確認したいときは、「+」または「-」ボタンを押してください。
- エアインテリジェンスモジュールを装着した場合、電源を入れてからの5分間、ダストおよびニオイセンサーのランプはすべて点灯します。

# 5つの特長 - ⑤-1 オフィス環境にも最適

世界で最も歴史があるデザイン賞である  
「GOOD DESIGN AWARD」を受賞

白と黒を基調とした清潔感と高級感を持ち合わせたシンプルデザイン。  
高機能でありながら、どんな空間にもマッチします。



その美しさはあらゆるインテリアに調和し  
モダンで洗練された空間を演出します。

GOOD DESIGN Award  
(Chicago)



スリムボディでコンパクトな  
設置面積

A4サイズ2枚分のスペースがあれば  
設置が可能なスリムボディ。



# 5つの特長 - ⑤-2 オフィス環境にも最適

## ENERGY STAR® 認定製品

ENERGY STAR は米国で開発され、環境保護庁（EPA）およびエネルギー省が定める厳格なガイドラインに適合した省エネルギー製品に与えられる



ENERGY STARは省エネルギー電化製品向けの環境ラベリング制度であり、エネルギー効率を高めることで、企業や家庭のコストを削減し環境保護に寄与することを目的としている。  
このマークが表示された機器は、一般的に合衆国連邦政府の基準より20-30%エネルギー効率が良いとされている。



ブルーエア製品は、このENERGY STARの認定を受けており、1日あたりの電気代も約14円\*1 に抑えている。

- 参考（各種空調機器の1時間あたりの電気代）  
扇風機：0.5～1.5円（A社2018年モデル参考）  
エアコン：3～24円（H社2018年モデル参考）

\*1 単位電気代27円/kWhで計算。実際の使用方法や環境により異なる。

\*2 Pro XL「スピード1」の場合

## 動作音の静かさへのこだわり

ボディが遮音性の高いスチール製のため、33db(A)\*2 とほぼ音が気にならない。

### 音の大きさについての身近な例



80db	地下鉄や電車の車内
60db	静かな乗用車、普通の会話
40db	深夜の市内地、図書館
30db	深夜の郊外地、ささやき声

「省エネで、静かな動作音」  
=24時間365日使用してほしいから  
こそこの設計です。

# 5つの特長 - ⑤-3 オフィス環境にも最適

## ➤ 業界最長の3年間品質保証

業界最長の3年間メーカー保証を提供。

## ➤ 日常のお手入れ不要

他社品にしばしば見られる、フィルター部分の掃除機を使った清掃など、面倒な日常のお手入れは不要。定期的にフィルター交換をしていただくだけでOK。

## ➤ フィルター交換の自動お知らせ

フィルターの交換時期（約6カ月後）になると、お知らせランプが点灯。

## ➤ かんたんフィルター交換

交換用フィルターは入れ替えるだけ。  
工具なども要らず、どなたでもかんたんにフィルター交換可能。

## ➤ 設置費や工事不要

商品を箱から出して、コンセントにつなぐだけで使用可能。  
余計な作業も費用も発生しない。

**初期費用も面倒な日頃のお手入れも不要。  
置いておくだけでオフィスの空気環境改善につながります。**

# 製品仕様

# 02

# 内容物



① Blueair Pro空気清浄機本体  
\*購入時点ではダストフィルターを内蔵

② 電源コード

③ カバーレター

④ 取扱説明書

⑤ クリーニングクロス

⑥ 保証書

\*③～⑥はすべてキットボックスに同梱

# 各部名称



# 製品仕様一覧



商品名	Blueair Pro XL	Blueair Pro L	Blueair Pro M
品番	ProXLES120PAW	ProLK120PAW	ProMK120PAW
JAN	0689122002200	0689122002217	0689122002224
適用床面積 <sup>*1</sup>	～161㎡ (98畳)	～112㎡ (68畳)	～58㎡ (35畳)
消費電力 <sup>*2</sup>	24-190 W	18-130 W	10-70 W
運転音	33-56 db(A)	33-56 db(A)	33-53 db(A)
清浄空気供給量	357-1683m <sup>3</sup> /h	238-1122m <sup>3</sup> /h	119-561m <sup>3</sup> /h
8畳あたりの清浄時間 <sup>*3</sup>	約3分	約4分	約8分
製品寸法(mm)	幅504 × 奥行き240 × 高さ1120	幅504 × 奥行き240 × 高さ790	幅504 × 奥行き240 × 高さ430
製品重量	約30kg	約19kg	約11kg
センサー	○(ダスト/ニオイ)	オプション	オプション
電源	100V 50/60Hz	100V 50/60Hz	100V 50/60Hz

\*1 日本電機工業会JEM1467規格に基づく数値

\*2 使用する環境により異なる。

\*3 日本電機工業会JEM1467規格に基づき算出(スピード3運転時)。

# 交換用フィルター



対象機種	Pro XL/ L / M		Pro XL/ L / M		Pro XL/ L / M	
商品名	Blueair Proシリーズ ダストフィルター		Blueair Proシリーズ ニオイフィルター		Blueair Proシリーズ 追加用カーボン	
品番	FProPA		FProSM		FProCA	
JANコード	0689122002262		0689122002255		0689122002569	
入り数	1個		1個		1個	
必要数	Pro XL	3個	Pro XL	3個	Pro XL	1~3個
	Pro L	2個	Pro L	2個	Pro L	1~2個
	Pro M	1個	Pro M	1個	Pro M	1個
フィルター交換目安*1	約6か月		約6か月		約6か月	
備考	-		-		カーボンのみでは使用不可	

\*1 1日24時間稼動した場合

# Appendix

# 03

# Appendix(1)-1 モジュール化されたアクセサリ・パーツ類

Proシリーズは各モデル同じ構造であり、使用されているフィルターやパーツも共通化されています。そのためアフターサービスや在庫管理という視点でも、より扱いやすくなっています。



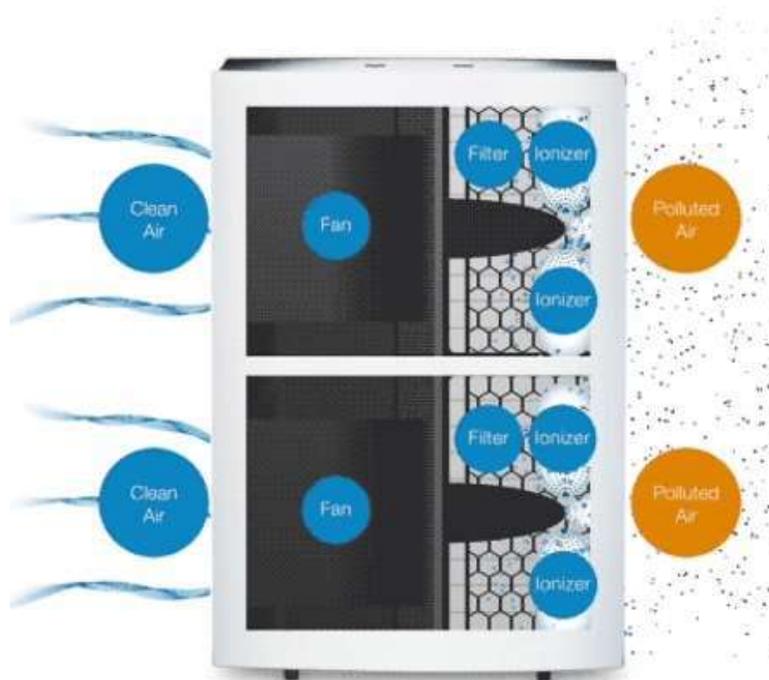
# Appendix(1)-2 モジュール化されたアクセサリ・パーツ類

各モデルの構造

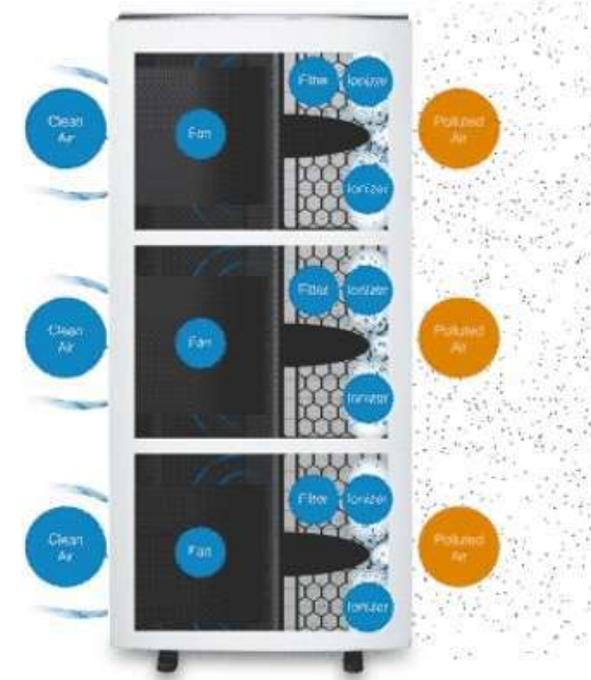
Pro M



Pro L



Pro XL

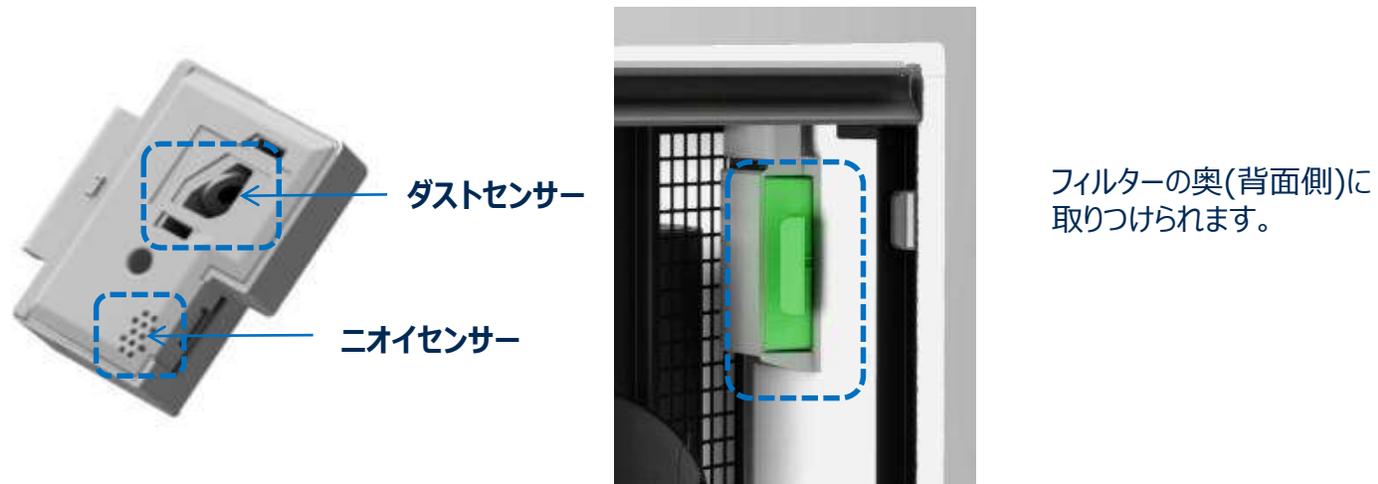


アニメーション動画はこちら →



## Appendix(2) エアインテリジェンスモジュール

Proシリーズのセンサーは取り外し可能なセンサーボックスタイプのエアインテリジェンスモジュールを採用。



Pro XLにはエアインテリジェンスモジュールが標準搭載されていますが、Pro LおよびPro Mは必要に応じて別途購入が可能です。エアインテリジェンスモジュールを装着することで、空気の汚れ具合の可視化やオート(自動運転)モードの使用が可能となります。

エアインテリジェンスモジュールを装着した場合、電源を入れてから最初の約5分間は「PM2.5」および「GAS」の量を表す3色のランプが全て点灯

# Appendix(3) 適用床面積と推奨フロア面積

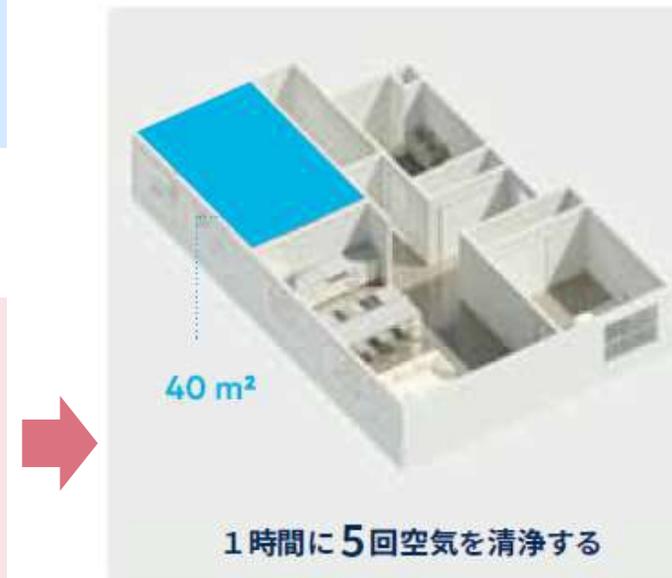
## 適用床面積とは・・・

日本電機工業会 JEM1467規格に基づき測定された数値。  
この日本電機工業会に加盟しているメーカーはこの基準に従い測定をしているため、  
量販店などの空気清浄機売場でよく目にするのはほとんどがこちら。

**= 日本独自の基準ではあるが、適用床面積で表記していないと日本の市場においては同じ基準で比較することができない**

## ブルーエアの提案する『推奨フロア面積』とは？

ブルーエアはCADR値より算出された空間サイズに基づき、その空間の空気を1時間に5回清浄できる広さを『推奨フロア面積』としています。  
これは日本の規格よりも、実空間での使用に配慮した厳密な考え方。絶えず発生する空気の汚れを速く除去し、常にきれいな空気で満たす、最適な1台の選び方を提案しています。



商品名	Pro XL	Pro L	Pro M
品番	ProXLES120PAW	ProLK120PAW	ProMK120PAW
推奨フロア面積	～110m <sup>2</sup> (66畳)	～72m <sup>2</sup> (44畳)	～36m <sup>2</sup> (22畳)
適用床面積	～161m <sup>2</sup> (98畳)	～112m <sup>2</sup> (68畳)	～58m <sup>2</sup> (35畳)

# Appendix(4) 風量について

業務用シリーズならではの強力な風量にも関わらず、オフィスにおいても気にならない静音性を実現

**業務用**

一般家庭用

商品名	Pro XL	Classic 680i
品番	ProXLES120PAW	200154
清浄空気供給量	357-1683m <sup>3</sup> /h	255-1105m <sup>3</sup> /h
運転音	33-56db(A)	32-62db(A)

スピード3運転時、Pro XLの清浄空気供給量は圧倒的に多いが、運転音はClassic 680iに比べて静か。

# Appendix(5) ウイルスの大きさ

## 実際ウイルスや菌の大きさはどれ位なのでしょう？

病因生物（又は物質）は皆さんも聞いたことのある病気を引き起こす原因となるウイルスや菌、その大きさ、引き起こす病気を簡単にまとめています。

病因生物（物質）	およその大きさ	関連する主な病気
ハウスダスト（ダニ等）	500.0 $\mu$ m	アトピー性皮膚炎
人間の細胞	50.0 $\mu$ m	（参考）
スギ花粉	30.0 $\mu$ m	スギ花粉症
梅毒トレポネーマ	10.0 $\mu$ m	梅毒
白癬（はくせん）菌	5.0 $\mu$ m	水虫
結核菌	2.0 $\mu$ m	結核、皮膚結核、結核疹
ブドウ球菌	0.9 $\mu$ m	とびひ、アトピー性皮膚炎
風疹ウイルス	0.2 $\mu$ m	風疹
麻疹ウイルス（はしか）	0.1 $\mu$ m	麻疹（はしか）
インフルエンザウイルス	0.1 $\mu$ m	インフルエンザ
ヘルペスウイルス	0.1 $\mu$ m	単純性疱疹（ヘルペス）
HIV	0.1 $\mu$ m	AIDS（後天性免疫不全症候群）

$\mu$ mとは「マイクロメートル」と読み、以前は「ミクロン」という言い方をしていましたが、現在では「マイクロメートル」が基準になっています。

$\mu$ （マイクロ）は単位接頭語と呼ばれており、単位の頭に付くことにより、物の大きさを示す役割を果たします。

例えば、1mの千倍は1Kmですが、このK（キロ）も単位接頭語であり、1,000倍を示します。

$\mu$ （マイクロ）の場合、1,000,000分の1（百万分の1）を表す単位接頭語なので、下の様になります。

1 $\mu$ m = 0.001mm = 0.000001m